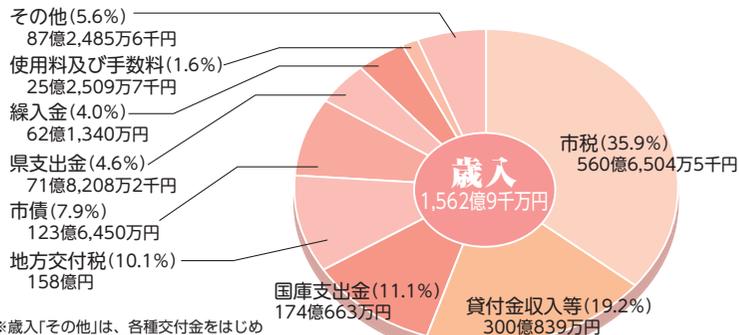
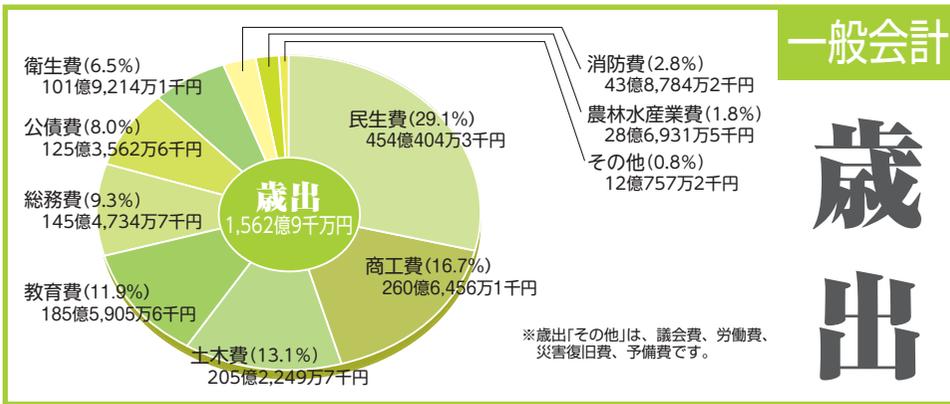


一般会計

歳入



※歳入「その他」は、各種交付金をはじめ地方譲与税、分担金及び負担金、財産収入、寄附金、繰越金です。



※歳出「その他」は、議会費、労働費、災害復旧費、予備費です。

各会計の予算額

会計別	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)/(B)
一般会計	1,562億9,000万円	1,591億9,000万円	98.2%
国民健康保険事業	374億3,843万2千円	374億5,840万9千円	99.9%
介護保険	237億3,458万8千円	224億3,135万8千円	105.8%
市民センター事業	1億1,830万円	1億2,542万5千円	94.3%
母子保健推進事業	5,219万1千円	—	—
後期高齢者医療	34億2,723万2千円	32億7,772万6千円	104.6%
老人保健	—	779万2千円	—
簡易水道事業等	1億5,138万5千円	1億3,864万3千円	109.2%
農業集落排水事業	1億6,527万6千円	1億8,821万9千円	87.8%
駐車場事業	5億4,501万9千円	5億2,869万5千円	103.1%
土地取得事業	6億2,967万1千円	14億3,627万9千円	43.8%
小計	662億6,209万4千円	655億9,254万6千円	101.0%
水道事業会計	100億2,777万9千円	98億6,409万4千円	101.4%
公共下水道事業会計	143億6,886万2千円	140億4,562万4千円	102.3%
合計	2,469億2,373万5千円	2,486億9,226万4千円	99.3%

歳出費用用語解説

- 民生費＝福祉など市民の安定した社会生活を保障するために必要な経費
- 商工費＝商工業の振興を図るための支援や観光振興のための経費
- 土木費＝道路、橋、河川、公園などの建設や維持に要する経費
- 教育費＝小・中学校などすべての教育関係に要する経費
- 総務費＝市の各種計画の策定や推進、市の内部管理などの経費
- 公債費＝市の借入金の返済に要する経費
- 衛生費＝市民が健康で衛生的な生活環境を保持するための経費
- 消防費＝消防事業や災害防除または災害が生じた場合の被害を軽減するための経費
- 農林水産業費＝農林業の振興を図るための支援や生産基盤設備などの経費
- 議会費＝議会の活動に要する経費
- 労働費＝雇用促進に係る経費や労働者のための施設管理などに要する経費
- 災害復旧費＝災害によって生じた被害の復旧に要する経費
- 予備費＝当初予期しなかった予算外・予算超過の支出に充てるための経費

予算総額 2,469億2,373万5千円

一般会計 1,562億9,000万円

特別会計 662億6,209万4千円

水道事業 100億2,777万9千円

公共下水道事業 143億6,886万2千円

4月1日、高崎市は中核市になりました。

中核市となった本市の

平成23年度予算の概要

4月1日、本市は中核市に移行了しました。これに先立ち、3月19日、北関東自動車道が全線開通しました。さらに平成26年度には北陸新幹線が金沢まで延伸されるなど、中核市としての本市の交通拠点性や存在感は一段と高まっています。

中核市となった本市は、人・もの・情報が行き交う都市として県内だけでなく、上信越・北陸地域の発展においてもますます大きな役割を担っていくこととなります。



行政サービスの向上と行政基盤の確立を目指し

新しいスタートを切る本市の平成23年度予算は、「中核市移行による行政サービスの向上と安心・活力の創出と」「中核市としての行政基盤の確立」を基本方針として編成しました。将来的に安定した健全財政を目指すとともに、第5次総合計画の将来都市像に掲げる「交流と創造・輝く高崎」の建設を着実に推進するため、効率的に予算

を配分しました。

一般会計は

対前年度比1.8%減に

2月22日から3月17日まで開かれた第1回市議会定例会で、平成23年度予算が可決されました。一般会計は1,562億9千万円で、前年度比1.8%の減少です。

特別会計予算と企業会計予算を合わせた総額は、0.7%の減少です。

●歳入
財政運営の根幹となる市税は、前年度比1.2%増となる560億6,504万5千円を計上しました。

●歳出
引き続き厳しい財政状況の中、

中核市移行による行政サービスの向上や、安心で活力あるまちづくり、行政基盤の確立を基本として予算を配分しました。

特に、保健所の設置による地域保健衛生の推進など、福祉や環境などの関係機関と連携を強化し、市民ニーズに対応したきめ細かな保健衛生サービスの提供に取り組みます。また、中小企業への融資の促進や事業所税助成制度などを創設し、厳しい経済状況に直面する中小企業の資金繰りの円滑化を進めます。

そのほか、生涯学習・男女共同参画センター(仮称)やスマーティンターチェンジ、群馬地域運動広場(仮称)などの整備に取り組み、第5次総合計画を着実に推進していきます。



農業者向け制度資金の拡充	2,268万円
有害鳥獣対策	2,201万円
事業所税課税中小企業への支援	2億6,562万円
中小企業向け融資の促進	244億3,600万円
群馬ステーションキャンペーン関連事業	326万円
高崎まつりや各地域のまつりの開催	1億2,571万円

人々がどう魅力あるまち

- ▶天候不良などの事態に速やかに対応できるように、農業者向け既存制度資金を拡充
- ▶近年増加している有害鳥獣による農林作物への被害防止策を実施
- ▶事業所税課税開始に伴い、中小企業の新たな税負担の軽減と経営基盤の安定化を目的とした助成金を創設
- ▶観光振興資金の創設や特別対策資金を拡充し、中小企業の円滑な資金繰りを支援
- ▶7月から9月まで開催される大型観光企画「群馬ステーションキャンペーン」に向けた受け入れ環境づくりを実施
- ▶「高崎まつり」をはじめ各地域の祭りやイベントを支援し、観光都市としてのにぎわいを創出

便利で快適な住みよいまち

- ▶市内循環バス「ぐるりん」の運行内容を再検証し、路線全体の利便性の向上を促進
- ▶区画整理事業は、高崎駅西口周辺地区や倉賀野駅北地区、浜尻北地区（交差点改良）、高崎操車場跡地周辺地区、群馬中央第二地区を重点的に整備
- ▶高崎駅東口第八地区と高崎駅西口第四地区の再開発を推進
- ▶街路事業は、高前幹線、飯塚並木線、宿横手大沢線、矢中下齋田線などの道路整備を実施
- ▶高崎駅周辺の魅力と集客力を高めるため、東口駅前広場の再編成整備を推進
- ▶高速交通網の利便性の向上を図るため、スマートインターチェンジを整備
- ▶山名市営住宅の第5期建て替え工事を実施
- ▶上水道は、配水管の布設や老朽管などの布設替えによる管網整備事業や、施設改良などを引き続き実施
- ▶下水道は、管きよ整備のほか、管路と各水処理施設の適切な維持管理を図るための長寿命化計画を策定



昨年完成した山名市営住宅

バス交通対策事業	4億4,567万円
区画整理事業	41億9,122万円
市街地再開発事業	3億2,846万円
街路事業	12億4,261万円
高崎駅東口周辺整備事業	1億3,445万円
スマートインターチェンジ整備事業	10億705万円
山名市営住宅建替事業	2億8,870万円

安心でやすらぎのあるまち

- ▶自主防犯活動団体などへの支援を充実させ、官民一体の犯罪防止活動の展開を図るとともに、全市的な地域防犯活動を推進
- ▶地球温暖化対策として、太陽光発電システムの導入経費の一部を補助
- ▶市斎場の老朽化と今後の火葬件数の増加に対応するため、新斎場建設に向けた基本設計を実施
- ▶一般廃棄物処理について、市町村合併による地域の拡大などから新市として総合的な計画を策定
- ▶一般廃棄物のストックヤード（一時保管場所）整備に向け、新町清掃センター焼却炉棟の解体工事を実施
- ▶エコパーク榛名の埋め立て期間の延長を図るため、第2期の施設整備を実施
- ▶カッパピア跡地周辺の環境資源を保全するため、公園として整備
- ▶消防団の消防ポンプ自動車を計画的に整備
- ▶県との共催による防災訓練を実施



市民安全推進事業	3,848万円
太陽光発電システム導入補助	1億1,250万円
新斎場建設事業	4,841万円
一般廃棄物処理基本計画策定	1,000万円
新町クリーンステーション（仮称）整備	2億3,524万円
エコパーク榛名第2期施設整備	12億7,711万円
観音山公園整備	3億5,770万円
消防ポンプ自動車購入	7,000万円
防災訓練事業	1,110万円



榛名地域福祉会館（仮称）建設	2億1,919万円
吉井総合福祉センター（仮称）建設	2,553万円
吉井地域障害者施設（仮称）建設	7億7,913万円
子育て支援活動推進補助	200万円
放課後児童健全育成事業	4億8,824万円
子ども発達支援センター事業	1,757万円
乳幼児等保健指導事業の拡充	4,924万円
健康診査事業の拡充	4億1,645万円

すこやかで元気に暮らせるまち

- ▶榛名地域に福祉相談やボランティア推進の拠点となる福祉会館を図書館と一体的に建設
- ▶吉井地域に地域福祉の充実や交流の場、福祉相談の拠点となる総合福祉センターを建設
- ▶吉井地域に障害のある人の地域活動拠点となる障害者施設を建設
- ▶高崎市子ども基金を活用し、地域の子育て支援活動を行う団体に対して活動費の一部を補助
- ▶放課後の児童の健全育成を推進するため、放課後児童クラブの運営と施設整備を実施
- ▶発達障害のある子どもなどに対する支援を効果的に実施するため、子ども発達支援センターを開設し、統一的な支援策を展開
- ▶「すくすく相談」の集団指導化や「まめの木学級」開催回数の増加など、乳幼児の発育支援策を拡充
- ▶がんセット検診を導入し、新たに「胃がんリスク検診」と「ピロリ検診」の項目を追加

豊かな心と感性が育つまち

- ▶企画文化事業として、第45回松竹大歌舞伎などを開催
- ▶市美術館、市タワー美術館、染料植物園でそれぞれ企画展を開催
- ▶通級指導教室の利用者増加に対応するため、城山小学校の一室を改修
- ▶昭和56年以前に建設された校舎などの耐震診断を行い、診断結果に基づき補強設計、補強工事を実施
- ▶自校方式の給食を市内全域の小・中学校に順次拡大
- ▶中川小学校と倉洲小学校のプールや、佐野中学校の校舎を建設
- ▶生涯学習推進の拠点施設として、旧群馬中央跡地に生涯学習センター（仮称）を男女共同参画センター（仮称）と一体的に建設
- ▶昭和56年以前に建設された地区公民館の耐震診断を行い、診断結果に基づき順次改修
- ▶地域の社会教育活動の拠点となる下里見公民館（仮称）を建設
- ▶群馬地域に軟式野球場と少年野球場、レクリエーション広場などの施設を一体的に整備



芸術企画文化事業	2億9,061万円
通級指導教室城山教室整備	900万円
耐震補強事業	2億1,643万円
自校方式給食拡充事業	4億842万円
義務教育施設の整備	7億8,053万円
生涯学習センター（仮称）建設	10億1,942万円
公民館改修事業	1億1,878万円
下里見公民館（仮称）建設	2億7,103万円
群馬地域運動広場（仮称）整備	10億5,459万円



生涯学習・男女共同参画センター（仮称）イメージ図

平和ゾーン（仮称）設置事業	100万円
都市集客施設整備事業	1,954万円
男女共同参画センター（仮称）建設	6億8,004万円

市民とつくるみんなのまち

- ▶庁舎前広場に平和ゾーン（仮称）を設置
- ▶都市集客戦略ビジョンに掲げた都市集客施設の整備に向けた基本構想を策定
- ▶男女共同参画社会を創造するための拠点として、旧群馬中央跡地に男女共同参画センター（仮称）を生涯学習センター（仮称）と一体的に建設

今年度の予算を特徴付ける主な事業の概要とその予算額を6つの項目に沿って紹介いたします。
問い合わせは、財政課（☎321・1214）へ。

平成23年度予算の特徴